

アジア・アフリカ ラテンアメリカ



〒540-0004 大阪市中央区玉造 1-6-11 黒石ビル3F
2025年2月1日 No. 624

大阪アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会機関紙



2025 大阪 AALA 新春のつどい
歌って語りって、楽しい
ひとときを過ごしました

1月19日(日)13時～16時 えきちか森ノ宮

今年も大阪 AALA 新春のつどいが開催されました。高木さんの司会のもと、姫野理事長の乾杯のあいさつから始まりました。

「激動の世界、危うい方向に流れさせてはならない。戦争の元にはアメリカを中心とした軍事同盟があるが、世界は非軍事で平和と安定を希求する流れが大勢である。非同盟諸国の運動に学び、世界から日本を見ることが大事である。今こそ AALA の運動が求められている」との理事長のあいさつの後、みんな元気よく乾杯の唱和となりました。

その後、バンド・GOM の演奏と歌声が始まりました。組合の運動をしながらのバンド活動のため、日頃はなかなか練習する時間が取れないとのことですが、2人の澄み切った声と語りかけるよう

飲み物と軽食、そして歌のあとの新年のひとことあいさつは、他県の AALA 会員や会員外の参加者のバラエティに富んだ話にもり上がりました。

参加者は21名集まりました。こんな楽しい「つどい」をまた開催してほしい、そんな声も多かった今年最初のイベントでした。

ユンに市民が勝った

…非常戒厳を阻止した市民の力

日本コリア協会・大阪 理事長 飯田光徳



宣言。大統領本人やその妻が招いた混乱を結局は反共を声高に叫び、暴力的に独裁体制をつくろうとしたのだ。

だが、この窮極的な内乱の企ては市民の機敏かつ継続的な行動と圧倒的な力の前に見事に失敗。いっそうに出頭にも応じようとしないう、ユン大統領に12月末には逮捕状が執行され、とうとう1月15日10時過ぎに逮捕された。

昨年12月3日深夜、韓国・ユン大統領によって非常戒厳が宣言され、6時間後に解除される事態となった。
ユン大統領は「北朝鮮共産勢力の脅威から自由大韓民国を守り、韓国国民の自由と幸福を略奪している破廉恥な従北反国家勢力を一举に排除し、自由憲政秩序を守るために非常戒厳を宣布する」と

れと国会前に集結したことが、結果的に戒厳令を解除させた。流血の事態も想定される中、軍・警察の理性的な判断もあり、奇跡的に回避された。

大統領の独裁的発想が合法的にコントロールされた点は、韓国の民主主義が堅実に根を下ろしたことを示す。軍事独裁との長いたたかいの経験が活かされた。

今回の市民の行動に大きな影響を与えたのが映画やN-POP、文学などの文化の力だった。大ヒットした、チョドフアのクーデターを描いた映画「ソウルの春」。光州

非常戒厳宣布の真相がこれから解明されるであろう。この間、多くの市民は、雪降るソウルで官邸前に座り込み、そのパワーが逮捕に追い込んだとって過言ではない。
今回、「解除」「逮捕」に向け市民が果たした役割は極めて重要だ。「命を賭して」数千人の市民が国会議員を守

を受けた時、映画のシーンを想起した市民は少なくなかったという。

韓国国会前の集会前に向かうある学生は、BTSの「Ma City」を聴いていた。分断を越えるパワーを感じて涙したという。この曲の「I HOPE

のパートで光州民主化運動が出てくる。《俺は 全羅南道光州（生まれ） 熱をもって熱を制する 法を手放すなんてありえない》 戒厳令を厳しく批判。韓国の民主主義がきちんと積み上げられていると実感できる歌詞だ。《みんな押せ062-518》と締めくくられる。

062は光州の市外局番、そして518は光州蜂起の5月18日だ。「Ma City」は、BTSのメンバーの各々の故郷を想う歌であるが、I HOPEのパートは差別と抗い、光州での犠牲者への鎮魂歌のようにも聞こえる。

市民のデモには本当に若い女性が多い。これも保守派の「女嫌」への抵抗か。パククネ弾劾の時からデモの定番曲



「少女時代」の『Into the new world（また巡り合えた世界）』も健在だ。「あなたを愛してる この感覚そのままに描いてきた 迷いの終わり」この世界で 繰り返される「悲しみよさようなら」との歌詞に、変化を望む韓国の市民社会の願いが込められている。一方、私たちが懐かし「朝露」や光州の「あなたのための行進曲」も若い人に伝承されているというから面白い。

日本による植民地支配、南北分断、朝鮮戦争、そして軍事独裁政権による人権弾圧。韓国と朝鮮の現代史は満身創痍であった。その中で長い間、詩人の想像力は武器であり、希望だった。過酷な歴史の中で無念の死の蓄積と、彼

新年の抱負

NO.2

紙面の関係で新年号に載せきれなかった分です。書いていただいた方には遅くなりまして誠に申し訳ありません。

新年にあたって

北瀬昭代

先の総選挙で自公が過半数を割る事態となり、これまでのように多数を頼んでのゴリ押しはできなくなった。首班指名でも過半数にならないために決選投票となった。今後の法案審議をはじめ、様々な場面で各党の態度が問われることになると思われる。これまで以上に注視していきたい。

コロナで海外旅行もご無沙汰していた間に旅券の期限も切れてしまっており改めて申請しなければならぬが、AALA企画のベトナム平和交流

ツアー(2月7日〜13日)に参加するのが一番の楽しみである。一般の観光旅行ではなかなか行かないところ、聞けない話が聞けるのがAALA企画ならではの楽しみである。特に誰とも相談せず申し込んだが、さっそく知り合いから「僕も行くで」と連絡があり、ますます期待が膨らむ。



市民が安心して暮らせる自治体へStep by Step

出町ゆかり



今回入会させていただきました出町ゆかりです。日本共産党の高槻市議員で現在3期目、今年で10年になりました。

高槻市の共産党議員団は、この間、市民の要望を市政に届け、実現することになった。毎年、市長に対して予算要望を提出して、来年の予算要望の中で、物価高への支援策として7回目のプレミアム商品券の実施を訴えてきました。

そして、12月議会です。プレミアム商品券の身は、4000円の負担で、1万円分の買い物飲食ができるというものです。実に2.5倍のプ

また、子育て支援の一ツとして、16歳から18歳までの年齢の子どもの世帯について、高槻産米10キロの宅配も決まっています。1月から2月中には自宅に届けられます。

これからも市民が安心して暮らせる自治体をつ

くるために、また、AALAの一員として、世界を見ながら地方自治の発展に寄与していきたいと思っております。どうかよろしく願います。

2ページから続く

らを記憶し追悼しようとする人々の姿を追った作品が高く評価されたハン・ガンさん。光州民主化運動を描いた『少年が来る』、チェジュ4.3事件を描いた『別れを告げない』。いずれも韓国人だけの経験にせず、人類の体験へとつないだ。それがノーベル文学賞受賞の所以だったのでないか。

韓国の市民社会では、軍事独裁政権との戦い、民主化闘争を単に過去のものとして、歴史と向き合い、世代を超え共有。さらには世界の人々の経験、記憶として残していこうとする努力が韓国の民主主義には活きている。キラキラ光る応援棒(ペンライト)の海はダテじゃない。今回の事態で明らかになった、韓国の民主主義の確かな歩みを日本の私たちが大いに学び、連帯したい。そして戦後80年という節目の年にふさわしく、歴史を記録し記憶に残す日本の市民社会を構築したいものだ。



ラオス 平和交流の旅

その2

(西野卓嗣・西野敏恵)

○モン族の村

クワンシーの滝を後にした我々は、それほど遠くはないモン族の村を訪問しました。そのころ周りには夕闇に囲まれておりまして、ラオスのモン族は、元々は山岳にいたようでしたが、現在はこの村で100人ほどがコミュニティを作って暮らしているようでした。彼らはカラフルな刺繍を得意としており、この村を訪ねる観光客にこの刺繍製品を販売して生計を立てているようでした。

した。

そこでは、我々観光客が

通る度に、小さな刺繍を施した小物を差し出して、かわいい声で「ワンダラー（1ドル）、ワンダラー」と叫んでいたのはとても印象的でした。なお、ガイドさんからは予め、観光客が子供たちに触ることは厳禁とくぎを刺されていたのですが、我々のメンバーの一人の足元に小さな男の子が突然抱きついてきて、そのメンバーがついてその子を抱き上げるとい

うアクシデントが起きませんでした。



モン族の家族

その子を抱き上げるとい

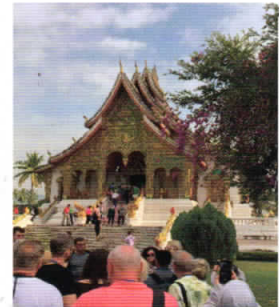
○ルアンパバーンでの最後の夕食

この日の夕食はこの旅で2回目の洋食でした。



洒落たガーデンでの夕食

この日の夕食はこの旅で2回目の洋食でした。



国立博物館パバーン安置祠

はありませんか。曲の名前はにわかには出てきませんが、我々にはとても懐かしい軽音楽の数々でした。周りを見渡すと、道路を隔てた反対側の洒落たバーの開かれたドアから、黒人男性と思しきテナーサククス奏者が見えました。普通なら、バ

ルアンパバーンでの最後の夕食

この日の朝食も昨日と同じホテルのレストランで摂りました。ヤシの木の間から野鳥の鳥の声に交じって、鶏の声が聞こえたのは、ちょっとオモシロかったです。この日は、今回の旅の実質的な最終日だったので、ホテルでのチェックアウトを済ませ、全ての荷物をミニバンに積んで、ルアンパバーンの国立博物館と3つの寺院へと出発しました。最初は、旅行社からもらったパンフレットには載ってなかった国立博物館（旧王宮）で、ミニバンでの乗車時間は1

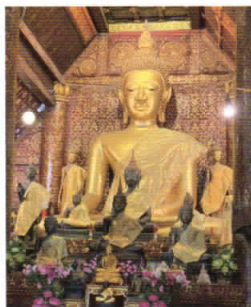
○ルアンパバーンの国立博物館「500B」

5分程度だったと思いません。ここでは先ず王朝時代最後の王様の堂々たる銅像がお迎えをしてくれて、そのあと持参したリュックなどをロッカーに預け、靴を脱いで、帽子を取って内部へ。館内には、王族が使用した刀、装飾品、家具、食器などのランサーン王国時代の調度品や、外国からの贈答品が展示されています。

また建物の裏にあるガレージでは、王族が実際に使用していたリンカーン・コンチネンタルなどのクラシックカーを見学することができました。更に園内の入口では、ルアンパバーンの名前の由来になったパバーン仏（黄金の像）が目を引きまます。前にも書きましたが、ラオスは金の産地としても有名なので、全体としてキンピカという印象でした。

○ワット・シエントーン (シエントーン寺院)

国立博物館の近くに入り、多くのラオスの案内書の表紙を飾るラオスを代表する寺院で、誰もが目にしているのではないかと思います。ルアンパバーン様式といわれる優雅かつ大胆に湾曲した幾層にも重なる屋根を持つていますが、また傾斜は緩く、東側に向かって3段、西側には1段の屋根が折り重なり、計9枚の屋根で構成されており、一目でラオスの寺院という感じですが。内部には、高さ5〜6mはあ



ワットシエントーンの仏像

ろうかという巨大でキンピカの仏像が鎮座しており、その周りには数多くのこれもキンピカの像が配置されておりました。ここでも、寺院の内部に入るには脱帽で裸足（靴下はOK）です。

○ワット・マイ (マイ寺院)

ワット・シエントーンから車で10分程度の所にあります。この寺院は、屋根の形がワット・シエントーンとは違いますが、ワット・シエントーンに次いで有名のようです。ここでも、寺院の内部に入るには脱帽で裸足です。お堂の内部にもやはり巨大でキンピカの仏像が鎮座しており、その周りには数多くのこれもキンピカの像が配置されておりました。それだけ見ると、ワット・シエ

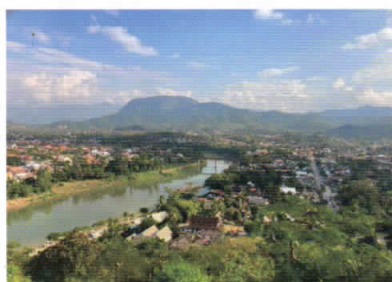
ントーンの内部と見間違えるほど似ていました。面白いのは、ラオスのお坊さんには戒律が多く、高僧は500以上、中くらいの僧侶でも300ほどの戒律を守らなければならず、それら戒律がイラストで描かれた屏風が、壁の隅に飾られていました。ちなみにガイドさんによると、我々凡人は5つの戒律（生き物を故意に殺すな・他人の物を盗むな・浮気をするな・嘘をつくな・酒を呑むな）を守ればいいとのことでした。しかし、他はともかく『酒を呑むな』はなかなかつらいと感じました。

○ワット・ピスン (ピスン寺院)

サン王朝時代に建立され、建造当初は木造だったが、19世紀末に焼失し、その後、コンクリート造りで再建されたとのことでした。仏塔の頭がスイカに似ているため、スイカ寺ともよばれるそうです。ここでも、内部は前述の2つの寺院と同じく、やはり巨大でキンピカの仏像が鎮座しており、その周りには数多くのこれもキンピカの像が配置されておりました。

また当然のことながら、入るときは脱帽で裸足でした。この日は既に靴を4回も脱ぎました。ですがこの時は、更にもう1回靴を脱ぐことにな

そして最後に訪れた寺院がワット・ピスンでした。16世紀初め、ラン



プーシーの丘からのルアンパバーンの町



浴々たるメコン川

るとは夢にも思いませんでした。

その後、参加者の一部の人からの要望もあって、近くにあるピーシーの丘に登りルアンパバーンの街を一望するという臨時の追加ツアーもありました。そこでは、3分の1くらいの人が300段を登りに出かけ、残りの多くは街の散策と、カフェでの談笑に分れました。カフェでは吉田团长からのまことに興味深いお話を聞くことができました。

吉田さんのご両親は、戦時中、治安維持法によって夫々監獄に入れら

れ、終戦と同時に開放されて、やっと吉田さんが生まれたそうです。もう少し終戦が遅ければ吉田さんは生まれてなかった。「滑り込みセーフだった」とのことでした。

お母さまは戦前の女子医専の歯科を卒業され歯科医をされていたようです。そのようなこともあってか、吉田さんが高校3年の時、「手に職を付けないさい、歯科医がいい。但し、国公立の大学に行きなさい。」と言われ、慌てて勉強を始められたようです。

結果として2年浪人をされたようですが、見事国立大学の歯学部に入學され、その後歯科医としても活躍されて、今日に至っているようです。

吉田さんの話を聞いているうちに、丘登り組や街の散策組が帰ってきたので、全員でスーパーマーケットに寄りました。

中身は先進国のスーパーマーケットと変わりなく、財布に残っていたラオスのお金(kip)を使い切りました。ました。

ルアンパバーンから空路ハノイ空港を経由して関空へ

「5日目～6日目」

ルアンパバーン空港は国際空港としてはとてもさみしく、1日に数本の飛行機が飛び立つだけのような感じでした。

ここでパゲツジを預ければ、後は関空まで運んでくれます。ベトナム航空VN930便は時刻の19時20分に予定通りルアンパバーン空港を離陸して、これも予定通り20時20分にハノイ空港に順調に着陸しました。

しかしここでちょっとした問題が発生しました。ハノイから成田へは

予定通り出発するが、関空行きは1時間遅れの6日午前2時10分(日本時間午前4時10分)発になるというのです。しかし、仕方がありません。チェックインして搭乗口付近で数時間を過ごすことになりました。

ハノイ空港はトランジットのはずなのですが、チェックインする際にまた持ち物検査があり、ここではまた靴を脱がされました。この日、靴を脱ぐのはここで5回目です。

ハノイ空港で成田行きの皆さんとお別れしました。また近いうちにお会いしましょう、と。

そして、関西行きの名は全員元気に、予定より1時間遅れの12月6日午前8時過ぎに到着し、関西空港で再開を約してお別れしました。

おしまい



最も美しい寺といわれるワット・シエントーン



赤い屋根が美しいワット・マイ

畑山卓さんのミクロネシア通信

昨年11月末からミクロネシアに赴任している畑山さんからのお便りです。

わたしが現在生活しているのは、ミクロネシア連邦のチューク州。この州は200を越える島々が点在するチューク諸島で構成されている。人口は5万人というのが公式らしいが、グアムやハワイなどへの「出稼ぎ」が多く、実際に州に住んでいるのは3万人とも言われている。日本からはグアム経由で来ることができ、グアムまで3時間半、グアムから1時間半、約3500kmの道のりである。

「ミクロネシア」は、ポリネシア、メラネシアとともに太平洋の3区分

の一つの呼称である。この「ミクロネシア」エリアには、北マリアナ諸島(サイパンやテニアンなど。米の自治領)、パラオ共和国、グアム(米の準州)、マーシャル諸島共和国、ミクロネシア連邦の国々がある。

ここチューク諸島はかつてトラック諸島と呼ばれていた。聞き覚えがある人もいるだろう。第1次世界大戦中の1914年(大正3年)、ドイツ領ミクロネシアを日本が無血で占領。戦後の1920年(大正9年)には国際連盟によって日本の委任統治領と認められた。

日本人移民の動きも活発になり、1925年(大正14年)には3000人近くの日本人がトラック

ク諸島に移り住み、その後もどんどん南洋に夢を抱いた人たちの移住が増えていった。ミクロネシア全域では相当数の日本人が移住していたと思われる。移住者が増えるに従い、小学校も設立され、同時に現地人対象の「公学校」も作られ、日本語教育を中心にしながらか様な科目も授業に取り入れられた。



尋常小学校の堀跡 (ボンベイ)

産業は漁業が中心で、近くの海で取れる新鮮な力ツオを原料として 上質な

鯉節を大量に生産していた。当時は日本全土で消費される鯉節の60%がミクロネシアで生産されていた。

中心の島(夏島)には神社、寺、教会、小学校、幼稚園があり、その周辺には病院、映画館、写真店、寿司屋、歯科医院、旅館、銭湯、飲み屋、料亭などもあった。日本人の町ができあがっていた。

今、わたしが働いている高校にはルーツが日本にある生徒も多く、ナカソネ(仲宗根)、ナカムラ(仲村)、モリ(森)、ウエハラ(上原)などの姓の生徒がいる。聞くと祖父母が日本人ですという答えが返ってくる。戦後、日本に帰らずにこの地で一生を終えた人も多かったと思われる。

(続く)

ミクロネシア (外務省のホームページより)

面積 700平方キロメートル (奄美大島とほぼ同じ)

人口 114,160人(2022年世界銀行)

首都 パリキール(1989年11月、コロニアから遷都)



尋常小学校の門跡 (ボンベイ)

◆1月8日開催 常任理事会の報告

- 大阪AALA新春のつどいの実施
- ベトナム平和交流ツアーの状況
2月7日(金)〜13日(木)
ツアー参加者 21名
+鈴木さん(コーディネーター)、尾川さん
ツアー団長 堀内さん

- AALAカフェ今後の予定
- 機関紙について
- 第3種郵便への変更を検討
- 財政状況
- 未納者への会費納入のお願い
- 他団体との連携
- 今後の日程

2月11日(土)「建国記念の日」不承認大阪府民のつどい
3月4日(火)英語で世界を読む会
7日(金)国際女性デー大阪
23日(日)やめてんかカジノ・方博パレード

第4回理事会のご案内

日時 2025年2月19日(水)
会場 大阪AALA事務所

理事・常任理事等役員の方の出席
をお願いいたします。

英語で世界を読む会 3月例会のお知らせ

3月4日(火) 14:00~ 大阪AALA事務所

テキストは 1、Moving to the mountain tops: rising seas displace tens of thousands in Papua New Guinea.
2、US Steel and Nippon Sue Biden Over Decision to Block Merger.

奮ってご参加ください。連絡くださればテキストを送ります。連絡係 安井 pichan5@hotmail.com

文化欄

川柳

- ・ 巳の年は危機と希望の岐路に立つ
- ・ 戒厳令危ういところで押しとどめ
- ・ 瓜切りが厄介となる歳になり

大阪市旭区 近藤 正

訃報

これまで長年にわたって川柳を投稿していただいていた西川寛さんが1月7日にお亡くなりになりました。

西川さんは、若い頃はうたごえサークル活動や保育園建設運動などに関わり、その後AALAの活動にも参加しながら川柳づくりも趣味としておられました。

ご冥福をお祈りいたします。



大阪AALAへのお誘い

会費 月 800円(年 9,600円) (25才以下は年 3,000円) ※入会金 500円

* 会費の会計年度は毎年4月から翌年の3月です。半期毎に4,800円ずつご入金をお願いします。

* 会費の中には機関紙代も含まれています。月初めに大阪AALAと日本AALAの機関紙を郵送いたします。



Osaka

発行

大阪アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会 (大阪AALA)

Osaka Asia Africa Latin America Solidarity Committee

〒540-0004 大阪府中央区玉造1-6-11 黒石ビル3F

TEL 06-6768-5360 FAX 06-6768-5361

E-mail: osakaaala@nifty.com HP: http://osakaaala.la.coocan.jp/

機関紙・宣伝委員会

